

＝ 支部長新年挨拶 ＝

支部長 大野 富男

中部支部の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は私たち建築関係者にとって、まさに苦難の年でした。建築分野の総投資額はピークといわれる1990年に比べると半減したとまで言われています。この影響で企業経営が圧迫され、私たちの労働条件も厳しさが増す一方の状況が続いています。諸団体の今年の年頭挨拶を拝聴しても明るい話題を見つけるのが難しいような有様です。



昨年11月27日からは、構造設計一級建築士制度の本格運用がスタートしましたが、この制度により私たち構造設計者の地位向上がどの程度期待出来るのかはまだ未知数の状況としか言えません。ただ、私たちJSCAの会員の中から圧倒的多くの構造設計一級建築士を輩出したこともあり、全国のJSCA会員数は4000人を越える人数に増えました。これは皆様の日頃の努力の結果によるものであり感謝いたします。

しかしながら、日常業務においては、構造設計者本来の仕事とはかけ離れた確認申請関連のやり直し業務、過剰な指摘事項への対応などに苦しめられているという会員の声は依然として多く聞かれます。このような状況が一向に改善されない有様を見ますと、そもそも平成19年の改正建築基準法が建築設計あるいは建築施工の実態に合わない不合理な内容であったというのが結論と言えるのかも知れません。

現在、国土交通省はこの法律の運用の改善意見を広く求めており、JSCAからも昨年意見書を提出しているのはご承知のとおりですが、このような運用の改善で本当にいいのか疑問を感じます。中東をはじめ中国、韓国などでも構造関係の設計基準は統一化の方向に進んでいる中で、日本だけが世界の動きとはかけ離れた細かな法律を作って規制を強化している現状が本当に良いのか考え直す時ではないかとも思います。

昨年来の景気後退、とりわけ中部地区におけるほとんどの基幹産業において減産の動きが続いている状況下では私たちがかわる建築関連の投資も更に縮小に向かうのは避けられないとの予測があります。一方では、戦後の復興期に建設された多くの建物がこれから建替えの時期を迎えるので、今後はまた多くの仕事が発生するとの見方をする人もいます。私は後者の意見が正しいと見ていますが、それでも、今しばらくは建築業界にはきびしい逆風が吹き続けることは避けられないでしょう。

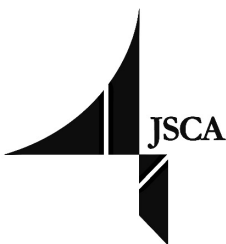
しかしながら、このようなきびしい状況をいくら嘆いても事態の解決にはなりません。逆境の時こそ能力、手腕の発揮のしどころと考え、知恵を出していく以外に進む道はありません。

中部支部会員の皆様の力を結集し、このきびしい状況を乗り越えて行こうではありませんか。皆様の力強いご支援をよろしくお願い申し上げます。

謹 賀 新 年

本年も宜しくお祝い致します

JSCA 中部支部役員一同



(社)日本建築構造技術者協会
中部支部

Japan Structural
Consultants Association

社団法人
〒460-0002

日本建築構造技術者協会 中部支部事務局
名古屋市中区丸の内1-15-15 桜通ビル
TEL/FAX 052-218-9011

鈴鹿サーキット パドック&グランドスタンドリニューアル

(株)竹中工務店 福本 晃治

1.はじめに

2009年10月2日～10月4日に鈴鹿サーキットで3年ぶりのF1グランプリが開催されました。このF1グランプリの開催を前に、新世代の国際サーキットに相応しい施設を目指した大規模なリニューアルが実施され、弊社はパドックエリアの各建物と新グランドスタンドの設計・施工を担当しました。

2.建物概要

レーシングコースのホームストレートを境に南側にグランドスタンド、北側にはパドックエリアが位置します。パドックエリアは、ピットビル棟、センターハウス棟、チームオフィス棟、事務所(SMSC)棟といったレースの参加者、主催者、運営者のための関係施設から構成されています。

このうち、グランドスタンドは全長186mで、観客席と放送ブースを有し、跳ね出しスパン約18mの大庇が覆う形となっています。また、ピットビルディングは全長約355mで、1階がピットエリア、2階がホスピタリティラウンジと呼ばれる多目的ルーム、3階は屋外の観戦スペースとなっています。また、ピットビルディングの2階、3階で、迫力のあるピット作業を直上から見ることのできるテラス席が設けられており、他では見られない特徴となっています。



グランドスタンド



ピットビルディング(2009.6.7撮影)



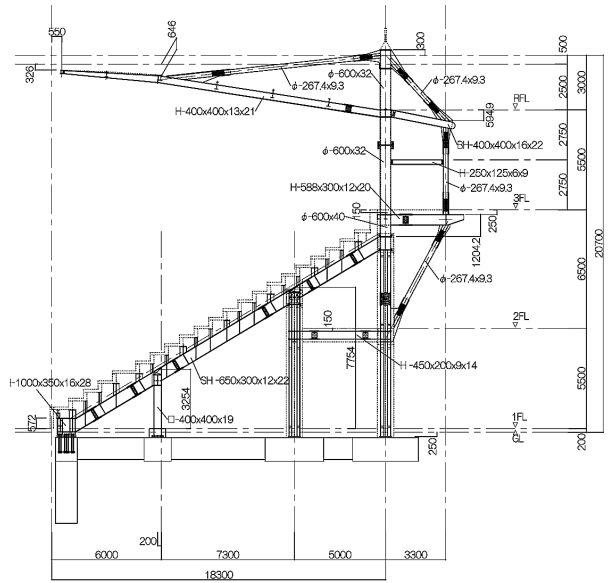
敷地内観覧車からの全景(2009.6.7撮影)

3. グランドスタンド棟

グランドスタンドは地上3階建てで、S造+SRC造の混合構造としました。グランドスタンドではレーシングコースへの視線の確保が重要な命題であり、視線を妨げないように、大庇の下部に一切構造部材を表出させない計画としました。また、186mの全長に対し、温度応力による伸縮変形が建物の端部で累積しないように主要な柱に接続するSRC大梁の一部を抜いて、大梁が全長に渡って連続しないように計画しました。



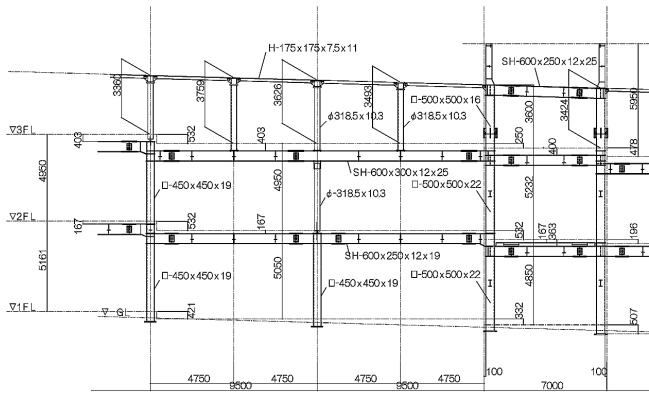
グランドスタンドの大梁配置(2009.6.7撮影)



グランドスタンド詳細図(短辺方向)

4. ピットビルディング棟

ピットビルディングは、地下1階、地上3階、塔屋1階のS造純ラーメン構造です。約355mと長い全長を有しているため、温度応力緩和のために途中2箇所でのエキスパンションジョイントを設けました。また、レーシングコースに合わせて建物全長に2.8%の勾配がついており、通路を一定勾配とする一方で、水平な床は段状配置となり、屋上では更に水勾配も必要となるため、各部で綿密な段差処理を行いました。これらの検討には3D-CADを駆使し、仕上げとの取り合いを含めた総合的な検討を実施しました。



ピットビルディング詳細図(長辺方向)

5. 短工期への対応

この計画には大小合わせて9棟の建物が含まれ、延床面積が4万㎡を超える規模となっています。これらをサーキットの運営スケジュールに沿った期間で完成させるため、設計段階から施工サイドと一体となり、短工期実現に向けた様々な取り組みを行いました。グランドスタンドの大庇では地組みによるユニット化工法を採用しました。ユニット毎に独立して成立する架構とするとともに、ユニット間のジョイントをできるだけ簡便にし、建方時の位置調整が可能なものとなりました。また、観客席の段床部分などで、各部のPCa化を図り、PCa化を前提とした構造計画を実施して短工期に貢献しました。これらの納まり検討の多くに3D-CADを活用することで、設計図、施工図作成の効率化も実現しています。



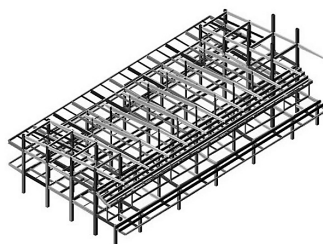
大庇ユニット化工法



ピットビルディング妻側検討図



鉄骨の内観(2F)



3D-CADによる架構図



ピットビルディング PCa小梁



グランドスタンド PCa段床

女性構造設計者 座談会

広報委員会

12月7日、広報委員会では「女性構造設計者座談会」と題して、名古屋近辺で活躍する女性構造設計者に集まって頂き、ざっくばらんに話し合ってもらおうと座談会を企画しました。

以前に比べ少しずつ増えてきてはいますが、まだまだ少数派の女性構造設計者。日頃どんなことを思い、構造設計に携わっているのでしょうか？

参加者

大場麻弥(清水建設) 小山真理(日総建)
川角久子(川角設計) 桑田志都子(日建設計)
柴田緑(JSCA中部支部役員) 鈴木夕夏(九尺設計)
瀧口真衣子(清水建設) 増田理恵子(大成建設)

司会

大橋智樹(大成建設)

—現在どんな仕事をしていますか？また今までどんな仕事をしてきましたか？

増田 入社4年目ですが工場や事務所が多いので鉄骨ばかり設計しています。RCもやってみたいと思っているのですが、なかなか機会がないです。

柴田 40年構造設計に係わってきました。小さな建物から大きな建物、耐震診断など一通りやって今年1月に日本設計を定年退職しました。今は週1回くらいのペースで耐震診断委員の仕事をしたり、JSCAの会合に出たりしています。

桑田 日建設計に入る前に、5年ほど他の設計事務所住宅など小規模な建物の設計をしていました。日建設計に入ってからには免震建物など大きな建物の設計もやらせてもらっています。

川角 40年くらい構造ばかりやってきました。工場、学校、マンション…様々な建物をやりました。昔設計した建物を耐震診断して補強したものもあります。構造の考え方が好きで、今はボランティアで地震や構造の考え方を地域の人に教えるなど、自分のやりたいことをやっています。

鈴木 いろいろな設計をしていますが、時刻歴解析が必要な建物は設計したことがないので、できればやってみたいですね。

小山 今の会社に入る前は、意匠設計事務所で働いていたこともありましたが、構造設計を始めてからは4年くらいです。耐震診断を多くしていて設計は数件しかやったことがないので、これからやりたいなと思っています。

大場 新入社員で右も左もわからないのですが、とにかく頑張っています。毎日新しくわからないことが出てくる状態で、周りの人に助けられながら勉強しています。

瀧口 入社3年目です。初めはわからないことだらけでしたが、いろいろな案件に恵まれてS造、RC造のラーメン、壁式、PC梁構法など様々な構造を経験することができました。今はS造7階建の設計をしています。

—構造設計の道に進んだきっかけは？

瀧口 大学生のとき、模型で作った空間を、実際に人の入れる規模で作るという実験をしたことがあります。実物大で建物を作ることがとても難しいことだと実感したのと同時に構造って面白い、もっと勉強したいと思い構造設計に進みました。

大場 小学生の時に阪神大震災があり、建物が壊れるものなんだと初めて思いました。地震って怖いものだなと実感したことがきっかけです。

小山 学生の時、設計において構造が決める要素はとても大きいんじゃないかと思ったことがきっかけです。構造は面白かったし勉強したいなと思い進みました。



座談会風景①

既製開孔補強筋

急ぎの計算、複雑な計算、柱際端部計算 ご相談下さい。

<ダイヤレンNS 高強度補強筋>

材質:KSS785材 コンクリート強度21~70N/mm²
評定番号 BCJ-RC0124-03 改正基準法後取得
荒川mean式を設計式に追加

コーリョー建販株式会社



本社 〒113-0021
TEL03-6902-5451(代) Fax03-6902-5453
<http://www.koryo-kenpan.co.jp>

<ダイヤレン 普通鉄筋補強筋>

材質:SD295A, SD345材
BCJ-C1419変
D10~D25 100φ~750φまで対応

仙台営業所 TEL022-261-8985(代)
九州営業所 TEL092-452-8020(代)
広島営業所 TEL082-246-7235(代)
名古屋出張所 TEL052-222-6681
コーリョー建販近畿(株) TEL06-6945-9091(代)

鈴木 物理も数学も大の苦手で構造に進むなんて思ってもいませんでした。学校を卒業し1年間意匠事務所にいたのですが、事務所をたたむことになり、当時の上司が、雇ってもらえないかと今の事務所に頼んでくれたことがきっかけです。今では構造の方が楽しくなっていました。

川角 最初の一本の線が描けたら構造なんて選んでいませんでした。意匠的な能力があれば構造をやっていたらよかったと思います。

桑田 大学で建築学科を選んだのは一番就職率がよかったからだったのですが、実際建築デザインをしてみて、間違えたと思いました。勉強していくうちに意匠的なデザインよりも、柱のない空間がすごいなと感じたり構造的なデザインに関心が向くようになりました。

柴田 中学を卒業して高専に進んだのですが、高専に進学した理由の一つは、1つ上の一期生の学年に川角さんというすごい人がいる事を知ったからでした。当時、高専はかなりの詰め込み主義でその5年間はとても大変でしたが、構造を面白く教える先生がいて、こんな簡単に建物の構造設計ができるんだと安易な考えで構造に進んでしまいました。会社に入ってからは何事も楽しもうと思い構造設計を続けてきました。

増田 意匠設計が格好いいと思い建築学科に入りましたが、入ってみてデザインが苦手なことに気がつきました。正直なところ初めは消去法で選んでしまった気もしますが、構造は面白いと思ったので構造設計の仕事を選びました。

—仕事をしていく上で、女性だから得したこと、または損したことはありますか？

増田 配筋検査などで現場に行きますが、現場の人たちが優しいので得してるのかなと思います。

瀧口 実際、男性よりも怒られ方が甘いとは思いますが。検査などで現場に行く時、自分が設計者として見られているのか不安に感じています。だから、ひとつひとつの発言を気をつけたり、現場に行く時はいつも緊張しています。

柴田 私が入社した当時は、同じ仕事内容にも関わらず男性と女性で給料が違っていました。会社に働きかけ同じ給料が貰えるまで2年かかりました。女性がずっと働くということが一般的ではなかったので、産休制度がないなど今より障害が多かったように感じます。

桑田 女性が少ない職場のため皆さん優しくしてくれるので、女性でよかったなと思います。周りの男性がとてできる人ばかりなので、女性だからという若干の差別に甘えて仕事するくらいが自分には合っています。怒られてしまうと思いますが、働くことにあまり熱意を持っていないので…。

柴田 私もそんな必死に働いてきたというわけではなく、会社にいるときは仕事に集中。会社を一步出たら家庭、仕事の事は一切考えない。そうやって仕事と家庭を両立させてきました。

川角 私も亭主も仕事を家に持ち込むので家が仕事場で

した。仕事も家庭もくくりがなく、ぐちゃぐちゃとやってきました。今の女性は男性同等に働くことを求められるので大変だと思います。

小山 皆さん優しく接してくれるので得していることの方が多いいと思います。結婚しているんですが、子供を持って、どうやったら仕事を続けていけるのかな？という悩みがあります。

鈴木 仕事を始めた当初、失敗をしたら設計業務から外されるという思いで、必死に働いてきました。当時は女性が働くことはそのくらい覚悟が必要だったように思います。男性に負けたくないという気持ちでずっとやってきて、今は子供もいますが、家庭と仕事の両立はとても難しいと感じています。

川角 私は逆に女性がいた方が場が和むと、いろいろな仕事をやらされました。男性だけではうまくいかないことも、女性が一人いることでうまくまとまることがあります。男性に負けてもいい、女性は女性なりの働き方があると私は思っています。しかし家庭を優先させたくても、仕事を優先させてしまうことの方が多かったですね。

柴田 入社当時、上司に「いつまで働くの？」と聞かれ「定年まで」と答えたらとても驚かれました。やはり女性が結婚してからも働くということは一般的ではなかったんですね。

大場 私は定年まで働きたいと思って会社に入社したんですが、帰りが遅くなることも多いので、結婚したり子供を持ってからも続けることは難しいのではないかと、つい感じてしまいます。

柴田 なんとかなるものですから、大丈夫！ストレスをためないように工夫することが大切です。

川角 無理をしなくて続けられるなら続けた方がいいと思います。自分が幸せだと思う道を選ぶのが一番です。

座談会終了後には食事会も催され、男性より女性の方が多いい構造設計者にとっては珍しい会となりました。お忙しいところ参加して頂いた女性構造設計者の皆さま、ありがとうございました。

女性構造設計者がますます活躍する時代が来ることを祈って！座談会の報告とさせていただきます。



座談会風景②



座談会風景③

「京都方面建物見学研修会」報告

(株) 盛本構造設計事務所 盛本 智夫

1.はじめに

JSCA中部支部計画部会では、2009年11月21日(土)に、「京都方面建物見学研修会」を開催し、28名に参加いただきました。構造的に特徴がある建物を見て刺激を受け日常の実務に生かすことと、参加者同士が交流を深められたら、と思ひ企画されました。日帰りのバス旅行です。

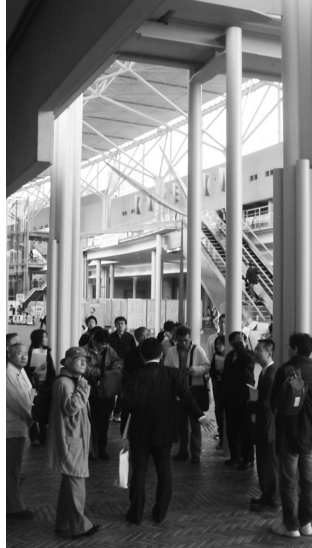
2.ガレリアかめおか／京都府亀岡市



ガレリアかめおか外観



ガレリアかめおか内観



ガレリアかめおか説明

意匠：池原義郎建築設計事務所
構造：木村俊彦構造設計事務所
用途：生涯学習施設、道の駅の複合施設
面積：約27,500㎡
特徴：鉄骨の柱が木の枝状になり、屋根とガラス壁面を支える構造

外観は写真よりもうんと良く、軽く甘い感じの立面が魅力的でした。竣工後11年が経っていますが、外部・内部ともとても綺麗で明るく、水色という色を上手に使っていると感じました。構造設計がそのまま外観・内観になっている建物で、細かい部材まで精魂こめて構造デザインがされていました。鉄骨は傘の骨組を基本系に自由自在に組まれていました。部材は全体的に非常に細かったです。「この建物はSS3では計算無理だ。偏心率は一体どうやって出したのだろうか？軸組図はどうやって書いたのだろうか？図面は外注したのだろうか？適判がない時代だったからできたのだろうか？市役所は計算書を理解できたのだろうか？」などと実務者としての疑問が浮かびました。今の時代でも夢を持ち続けて仕事をしていればいつの日かこのような構造設計ができるのではないかと決意を新たにしました。

3.昼食

ガレリアかめおか内のレストランでバイキングでした。私は美味しかったです、一番たくさん食べた若手が後日、「美味しくなかったです」と言い、飛び上がりました。

4.京都アクアリーナ／京都市右京区



京都アクアリーナ外観



京都アクアリーナ入口

意匠：仙田満+環境デザイン+團紀彦
構造：斉藤公男+構造計画研究所+構造計画プラスワン
用途：夏はプール、冬はアイススケート場
面積：30,500㎡
特徴：屋根免震構造

いかにも「建築」という造形で力強く迫力のある外観でした。全体としてはマッシブな形をしていましたが、よく見ると柱がだいぶ細かったです。屋根と柱頭の間に免震装置があり下部構造に伝える地震力を1/10に低減しているためです。世界初の屋根免震とのことで非免震の構造に比べて費用対効果もあるようです。免震支承は、3種類あって組み合わせて配置しているとのことでした。詳しくはわかりませんが勉強して実務に繋げたいものです。それにしてもこの建物は入口も出口もわかりにくかったです。迷いました。看板をたくさんつけると安っぽくなりますが、もう少しサインがあったらと思いました。このあたりは構造が口を出すと意匠は非常に嫌がりますね。

5.梅小路蒸気機関車館／京都市下京区



建築：渡辺節 梅小路蒸気機関車館

特徴：日本最古のRC建築物(大正2年)

日本最古のRC造ということで、大梁・小梁とも端部テーパー付で当時の材料の貴重さが想像されました。建物とは別に、機関車に興味がある人は見入っていました。興味がない人は少し退屈そうだったため早めに切り上げました。

6.見学会を終えて

心配された雨も降らずに、また若干の渋滞がありましたが無事帰ってきて良かったです。構造設計者とはかく事務所にこもりがちなので、今後もできるだけ外に出て実際の建物・工事現場をたくさん見ようと思った次第です。また、他の会社の方々とも話ができてとても有意義な1日になりました。

今後もJSCA中部を盛り上げていきたいと思ひます。最後になりましたが、見学会を企画していただきました計画部会の小坂井さん、安藤さん、小原さんはじめ参加された皆様、ありがとうございました。

AND展示会

(株)伊藤建築設計事務所 小川 浩信

平成21年10月20日(火)から25日(日)にかけて、金山にある名古屋都市センターにて、「アーキニアリングデザイン展in名古屋ー模型で楽しむ構造の世界」が開催されました。「アーキニアリングデザイン」とは、建築(アーキテクチャー)と設計・生産を支えるエンジニアリングの造語で、日本大学名誉教授・日本建築学会前会長の斉藤公男先生が考案されたものです。

アーキニアリングデザイン展は、学生たちが作った構造模型を主役として、2008年10月に建築会館にて開催されましたが、JSCA法人化20周年記念事業の一貫として、日本建築学会各支部とJSCA各支部および建築諸団体の協力の下、2009年4月26日の九州展を皮切りに全国10会場での巡回展として新たにスタートしました。JSCA中部でも学会東海支部とワーキンググループを結成し、約半年間の準備期間を経て今回の開催に至りました。

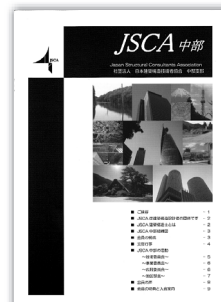
展示はA.歴史の歩み、B.20世紀の建築と技術、C.イメージとテクノロジーの交差点、D.空間構造の諸相、E.耐震と高さへの挑戦、F.身近なAND・住まいのAND、G.都市・環境のAND、H.軽量構造-J.シェア化コーナーの8つのテーマに分かれており、説明パネルを兼ねた展示台に約90点の模型を展示しました。

既に何箇所かの繰り返し展示による疲労破壊を生じた模型もありましたが、6日間で約1000人の入場者があり、熱心にメモを取る人、写真を撮る人、皆さん熱心に模型に見入っていました。また、24日には名古屋大学教授 大森博司氏、25日には斉藤公男氏(前掲)の記念講演会も開催され、それぞれ立ち見が出るほどの大盛況でした。

JSCAからは、JSCA紹介と歴代JSCA賞受賞作品のパネル展示、JSCA中部の紹介冊子の配布を行いました。この冊子は急遽この展示会に間に合わせるために、事業委員会が孤軍奮闘して作り上げたものです。ご入用の方は事務局まで…。



展示会の様子



JSCA中部紹介冊子

「海外での鉄骨建築物の工事監理について」-第2回JSCA庭講演会より-

(株)日建設計 小阪 淳也

10月23日(金)に、JSCA中部支部の事業委員会による「第2回JSCA庭(ば)」として、トスコム株式会社代表取締役 寺脇巖氏による「海外鉄骨ファブリケーションの状況」と題した講演会に参加しました(参加者18名)。

約40年に渡り鉄骨の製作に携わられた後、台湾での鉄骨監理をきっかけとしてCM業務を行う会社を設立、中国を中心として活躍されている寺脇さんより、中国の工場や上海森ビルなどのCM業務を通して、海外での建設工事の進め方やファブリケータについてご紹介いただきました。

■建設工事の進め方：

- ・ 中国では鉄骨重量が10万tを超える大規模工事も多いが、日常の業務はいたってのんびりしている。基本的に残業は無く、残った仕事を自宅に持ち帰るといったことは無い。そのため工期は必然的に長くなる。少しでも工期を短くしようと残業する日本とは大きく違う。
- ・ お互いの信頼関係の上で工事を行っている日本とは異なり、建物は事業者が自ら監理するという意識が高く、20を超える各工種毎に専門家と契約する。そこにCM業務が成立することとなる。
- ・ また、“次の工程が楽になるからこうしよう。”という発想はなく、良かれと思って設計図にないことをやってしまうと違約金を請求されてしまうこともあり、注意が必要。
- ・ 最初は戸惑うところもあるが、慣れてくると意外に楽である。運転手・秘書・部屋・3食の食事など待遇の面は良いので、若い方は積極的に出て実力を試してみることをお勧めする。

■中国のファブリケーター：

- ・ 中国のファブはとにかく大きく、10~20万㎡の敷地、2000人近い従業員。30~40万t/年を製作する工場もあり、日本のファブでは考えられない。
- ・ 鋼材は、商社を介すことは無く、直接メーカーから購入し、1次・2次加工品や鉄骨階段などすべての鉄骨を自社で作っている。
- ・ 設計図はかつてはディテールが少なく納まりが分からなかったが、最近ではCADの普及によりかなり精度は高くなっている。耐震・制震構造の考えについてはまだ十分ではない。
- ・ 日本の構造設計の技術はすばらしいと思うが、少し細かい点も感じる。

普段、海外の経験の無い私たちにとって、大変興味深いお話でした。講演会後の親睦会は、リラックスした雰囲気でのひと時でした。



講演会の様子

会員紹介

会員のみさま
PRのページです。
どうぞ御応募下さい。

連絡先：大成建設(株) 大橋
TEL: (052)562-7553

事務所を開設してから、早いもので6年目が過ぎました。この度、仕事で知り合えた方に誘われて、JSCAに入会させて頂きました。これからも皆様との交流の中で自身の構造技術を向上させていきたいと考えています。よろしくお願ひします。仕事柄、PCに向かっている時間が長いため、体(耐)力維持のためにはと思い、毎日ランニングで汗を流しています。おかげでウエストも大分絞れました。



杉本建築設計事務所
杉本 欣久

建築設計に携わって30年。独立して3年。JSCAに入会して3ヶ月。意匠系ゼミを卒業し、入った事務所で「構造が解らずして意匠は描けない」と言われ、先輩の設計を参考に様見まねで電卓を叩いていたのがつい昨日のようです。いつか「意匠に」と思っているうちに先輩は次々と退社しいつしか構造は私だけに…。周囲の皆さんに少しでもついて行けるようにと、遅まきながら入会させて頂きました。よろしくお願ひします。



榊栄設計
金子 隆司

学生時代に構造設計との出会いがあり、多くの先生方から、ご指導頂き、現在に至りました。構造設計業務においては知識や技術を学ぶ日々が過ぎていきます。学ぶ事を忘れずに設計を楽しく行っていきたくと思っています。この度は、JSCAに入会させて頂き、より多くの方々と交流を深め、各種行事に参加させて頂き構造技術や、研究成果を取得していきたくと思います。これからも、よろしくお願ひ致します。



(株)矢尾建築設計事務所
矢尾 誠

この度JSCAに入会させて頂きました。残念ながら平均年齢を引き下げる事にはなっていないと思います。東海地震の想定震源域に近い場所で構造設計を行っており、たえず緊張感を持って仕事をしています。IT技術の進歩により欲しい情報を瞬時に入手できるようになりましたが、本当に知りたいことは人とのつながりからしか得られない場合があります。JSCAのつながりに期待しています。よろしくお願ひします。



(株)新構造センター
飯塚 一弘

入社5年目ですが、まだまだ構造設計者として自分自身の知識と判断力の無さに苦悩しています。JSCAの講習会や見学会に参加することで、幅広く深い専門知識や技術を学び、業務に役立てたいと思っております。私は学生時代も入社後も愛知で過ごしてきました。まずは地元の中部圏で世の中に貢献できるように、そして全国へ目を向けて、諸先輩方に続いて形に残るような仕事ができれば、日々励んでゆきます。



(株)伊藤建築設計事務所
井上 圭人

入社して17年が経ちました。構造設計を主たる職務としてきましたが、その間、社外的な活動はほとんど行っていませんでした。今回、横への繋がりを通し、自分の視野を広めるためにJSCAに入会させていただきました。諸先輩からの助言やさまざまな情報を修得すると同時に、構造設計者の地位向上へ向け微力ながら貢献できたらと考えています。よろしくお願ひいたします。



(株)竹中工務店
浅野 三男

建築設計全般に携わって35年過ぎました。振り返ってみると構造設計をやっているときが一番かっこよかったかなと思っています。建築士法の改正で我々の建築士が今後進むべく道が明確になってきました。これから創造・構造・技術の分野に希望を持って飛び込んで来る後輩のために、我々の先輩からいただいた夢を後輩に引き継ぐ義務がありますが、たいへんなことです。はやくリタイヤーしたいです。



(株)柳澤設計事務所
柳澤 講次

岐阜で生まれ岐阜で育ち、建築のあれこれも岐阜で学びました。学生時代は構造の単位が取れず留年した輩(やから)です。岐阜の田舎事務所育ちで、構造だけでなく意匠をはじめ何でも拒まず挑みやってきました。そんな自他共に認める器用ものですが、一方で慌て物であり、どれがどの仕事で、納期がいつか?他人に聞かなければいけない私です。



(有)ナサプランニング
河島 寛

株式会社 テノックス

名古屋営業所

〒455-0011

愛知県名古屋市港区千年3-1-28(センコーセンター内)

TEL 052-651-5123 FAX 052-652-0288

http://www.tenox.co.jp

テノコラム工法 (技術審査証明取得工法)
ATTコラム工法 (国土交通大臣認定工法)
TN-X工法 (国土交通大臣認定工法)

高支持力先端拡大根固め工法

